

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第11週の発生動向

□ 全数報告の感染症（11 週までに新たに届出のあったもの）

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：報告なし。
 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 2 例。4 類感染症：報告なし。
 5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例、梅毒 4 例、百日咳 1 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
3類	腸管出血性大腸菌 感染症	宮崎市	40歳代	男	無症状病原体保有者	なし、O血清群不明(VT1,VT2)
			70歳代	女	無症状病原体保有者	なし、O血清群不明(VT1,VT2)
5類	カルバペネム耐性 腸内細菌感染症	延岡	90歳代	女	—	肺炎
	梅毒	宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			60歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳
			60歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳
		都城	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
	百日咳	延岡	10歳代	女	—	持続する咳

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 1,663 人(定点当たり 34.8)で、前週比 88%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症及び感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 329 人(5.7)で、前週比 82%と減少した。高千穂(9.5)、中央(9.0)、小林(7.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約半数を占めた。

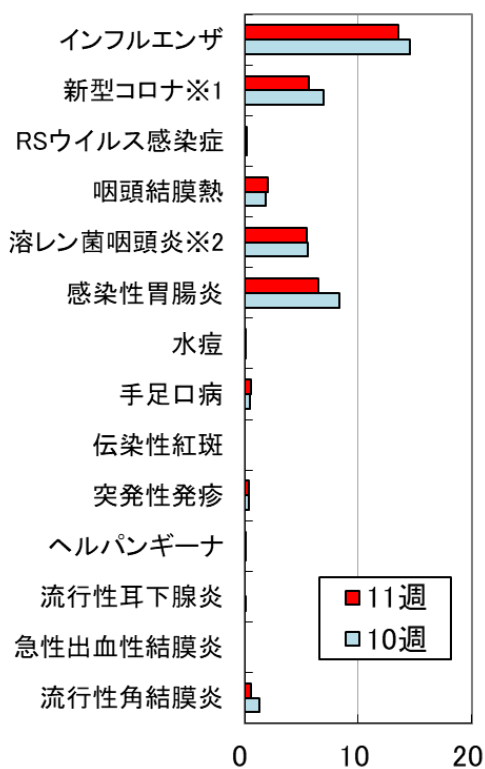
【インフルエンザ】

報告数は 788 人(13.6)で、前週比 93%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.4)の約 5.6 倍であった。日向(23.8)、中央(22.0)、延岡(21.4)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 9 割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は 196 人(5.4)で、前週比 98%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(1.8)の約 3.0 倍であった。小林(9.0)、宮崎市(6.7)、高千穂(6.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 4 歳から 7 歳が全体の約半数を占めた。

《前週との比較》



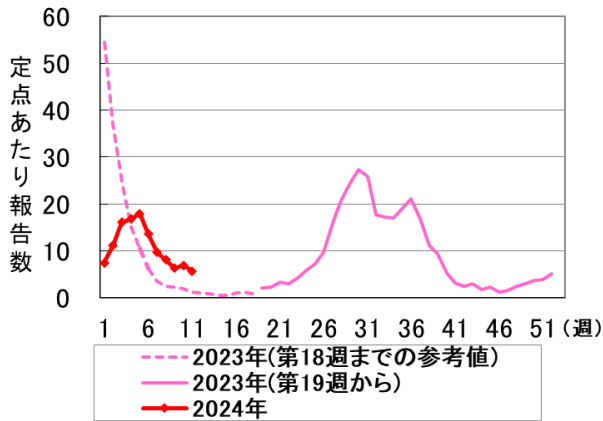
定 点 あ た り 報 告 数

※1 新型コロナウイルス感染症

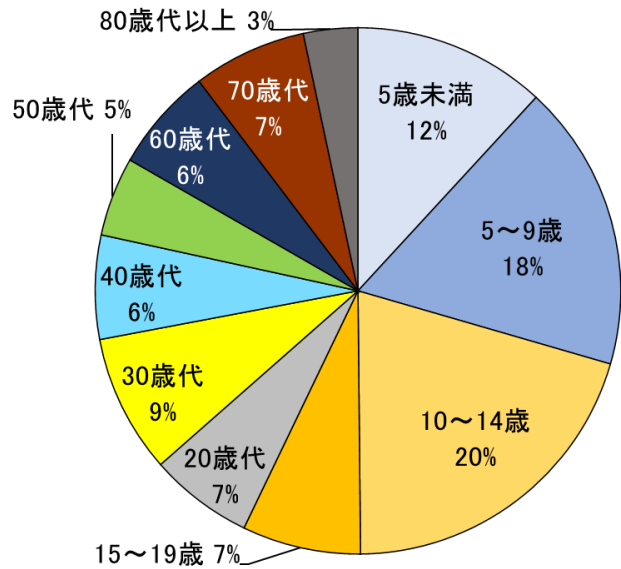
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

新型コロナウイルス感染症 発生状況

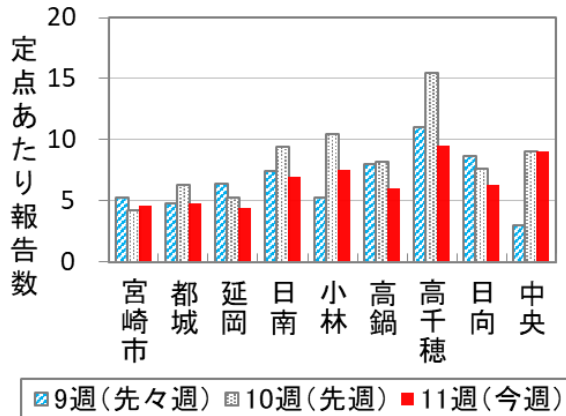


新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第11週)

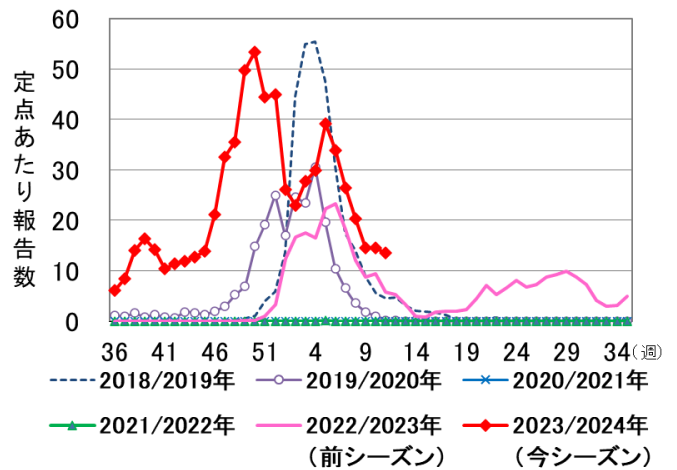


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

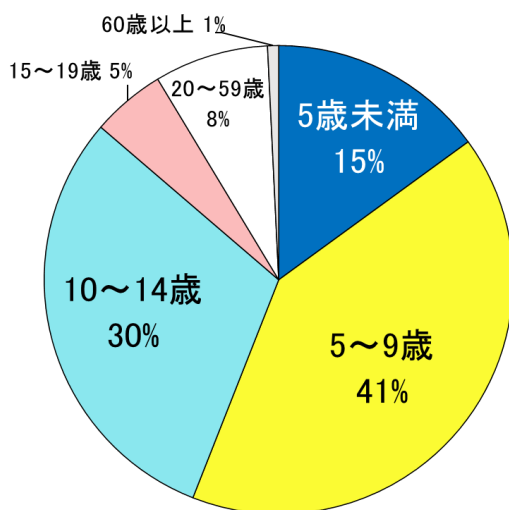
新型コロナウイルス感染症
保健所別推移(3週分)



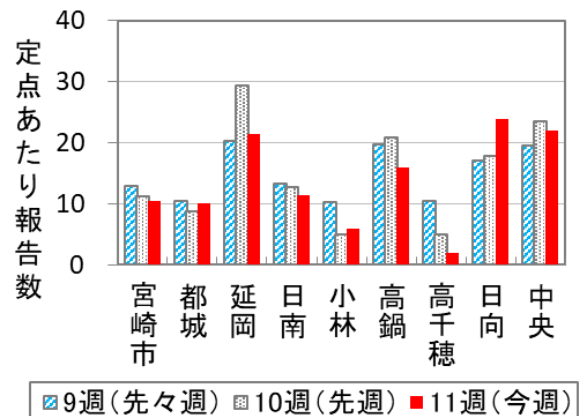
インフルエンザ 発生状況



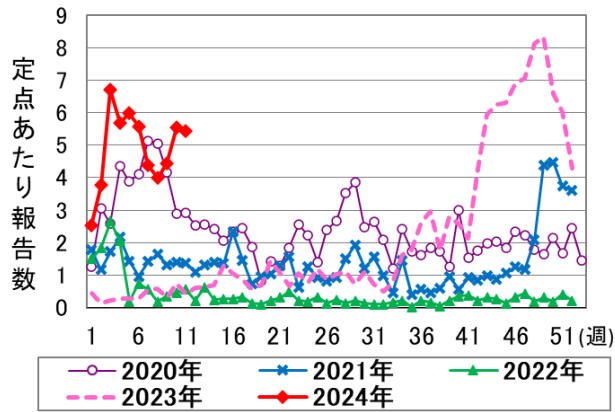
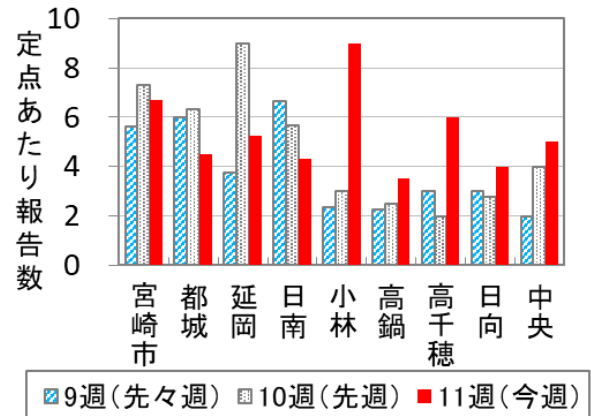
インフルエンザ年齢群別グラフ(第11週)



インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎
保健所別推移(3 週分)

★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(10.5)
都城	インフルエンザ(10.2)
延岡	インフルエンザ(21.4)
日南	インフルエンザ(11.4)、咽頭結膜熱(6.7)
小林	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.0)
高鍋	インフルエンザ(16.0)
高千穂	なし
日向	インフルエンザ(23.8)
中央	インフルエンザ(22.0)、咽頭結膜熱(3.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・咽頭結膜熱(3)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和6年3月18日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Thompson(O7:k:1,5)	0～4歳	女	2024.02.27	下痢	便	2024.03.06

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Influenza virus B(Victoria lineage)	10歳代	女	2024.01.09	インフルエンザB型、38.6℃、咽頭痛	咽頭ぬぐい液	2024.03.06
Influenza virus B(Victoria lineage)	5～9歳	男	2024.02.05	インフルエンザB型、39.5℃、上気道炎(咽頭炎)	鼻汁	2024.03.06
Influenza virus B(Victoria lineage)	5～9歳	女	2024.02.13	インフルエンザB型、39.1℃、上気道炎(咽頭痛)、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2024.03.06
Influenza virus B(Victoria lineage)	0～4歳	女	2024.02.13	インフルエンザB型、40.4℃、下気道炎(気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2024.03.06

○インフルエンザと診断された患者4名から、インフルエンザウイルス B(ビクトリア系統)が分離された。2024年3月18日時点で、当所での2023/2024シーズンにおけるインフルエンザウイルス分離検出件数は、インフルエンザウイルス AH3 が23件、インフルエンザウイルス AH1pdm09 が21件、インフルエンザウイルス B(ビクトリア系統)が6件、インフルエンザウイルス B(山形系統)が0件となっている。

全国 2024 年第 10 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	227 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	21 例				
4類感染症	E型肝炎	9 例	A型肝炎	3 例	エキノкокクス症	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	1 例	つつが虫病	3 例	デング熱	2 例
	レジオネラ症	34 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	21 例
	急性脳炎	8 例	クリプトスポリジウム症	2 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	36 例	後天性免疫不全症候群	9 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	9 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	21 例
	水痘(入院例)	12 例	梅毒	191 例	播種性クリプトкокクス症	4 例
	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例	百日咳	10 例
	麻しん	8 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 107%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、RSウイルス感染症及びA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、咽頭結膜熱及び手足口病であった。

インフルエンザの報告数は 79,643 人(16.1)で前週比 116%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(3.5)の約 4.7 倍であった。石川県(37.1)、北海道(35.0)、新潟県(31.8)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 32,236 人(6.5)で前週比 93%と減少した。宮城県(12.1)、新潟県(11.9)、山形県(11.2)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

疾病名		第10週	第11週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	845	788	168	102	150	57	24	96	4	143	44
	定点当り	14.57	13.59	10.50	10.20	21.43	11.40	6.00	16.00	2.00	23.83	22.00
新型コロナ ウイルス感染症	報告数	401	329	74	48	31	35	30	36	19	38	18
	定点当り	6.91	5.67	4.63	4.80	4.43	7.00	7.50	6.00	9.50	6.33	9.00
RSウイルス 感染症	報告数	6	5	2	1						2	
	定点当り	0.17	0.14	0.20	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	67	72	24	5	5	20	7	4	2	2	3
	定点当り	1.86	2.00	2.40	0.83	1.25	6.67	2.33	1.00	2.00	0.50	3.00
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	報告数	200	196	67	27	21	13	27	14	6	16	5
	定点当り	5.56	5.44	6.70	4.50	5.25	4.33	9.00	3.50	6.00	4.00	5.00
感染性胃腸炎	報告数	300	234	57	45	12	31	49	16	2	20	2
	定点当り	8.33	6.50	5.70	7.50	3.00	10.33	16.33	4.00	2.00	5.00	2.00
水 痘	報告数	3	2		1			1				
	定点当り	0.08	0.06	0.00	0.17	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	15	19	7	1	1	4		3			3
	定点当り	0.42	0.53	0.70	0.17	0.25	1.33	0.00	0.75	0.00	0.00	3.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	14	13	7	1	3		1	1			
	定点当り	0.39	0.36	0.70	0.17	0.75	0.00	0.33	0.25	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	3	2	2								
	定点当り	0.08	0.06	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1										
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性 結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	8	3	3								
	定点当り	1.33	0.50	1.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週 ～11週 保健所受理分)

2類感染症	結核	16例		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5例(2)		
4類感染症	E型肝炎	1例	つつが虫病	13例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2例(1)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
	梅毒	38例(4)	百日咳	1例(1)
			レジオネラ症	2例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
			侵襲性肺炎球菌感染症	2例

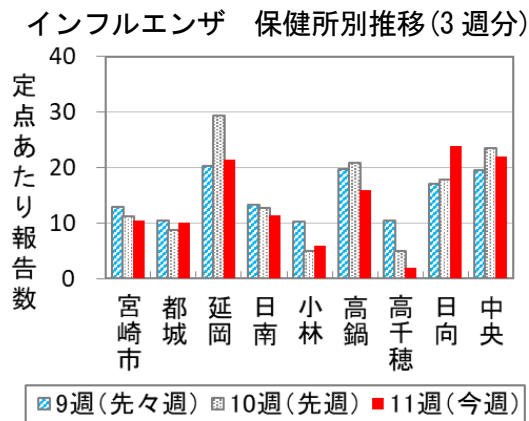
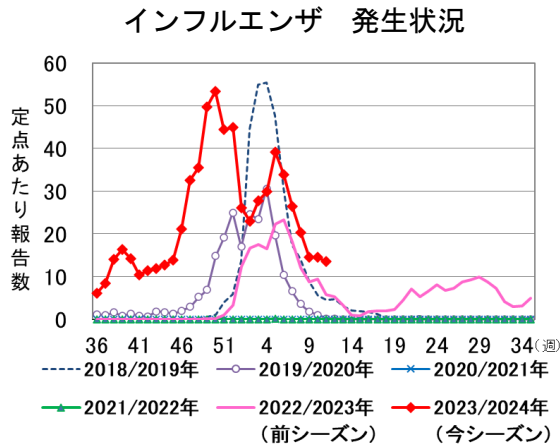
()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報《県内第 11 週、全国第 10 週（再掲）》

□ 県内第 11 週インフルエンザ発生動向

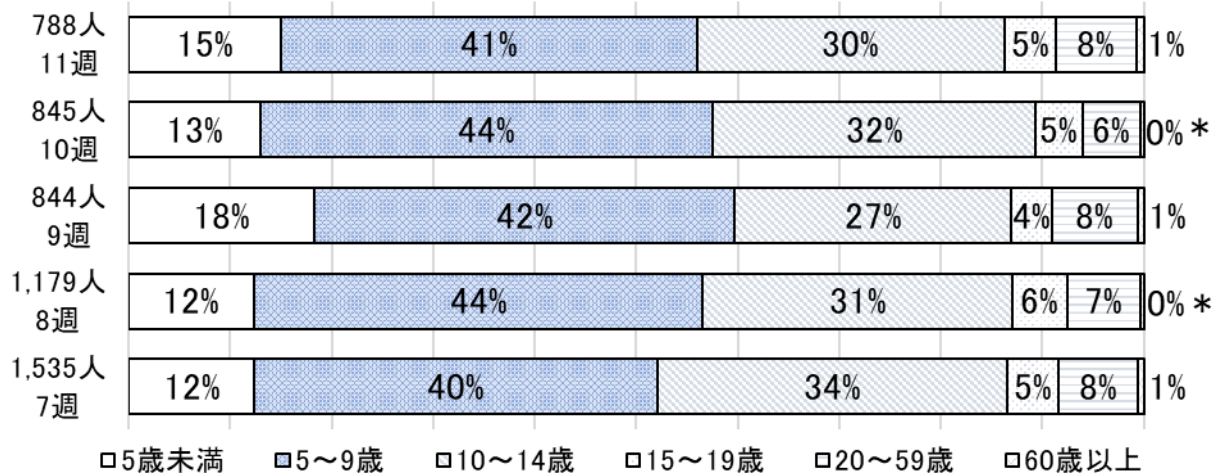
3 月 11 日～3 月 17 日までの 1 週間で 788 人(13.6)の報告があった。前週比 93%と減少し、例年同時期の定点あたり平均値* (2.4) の約 5.6 倍であった。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

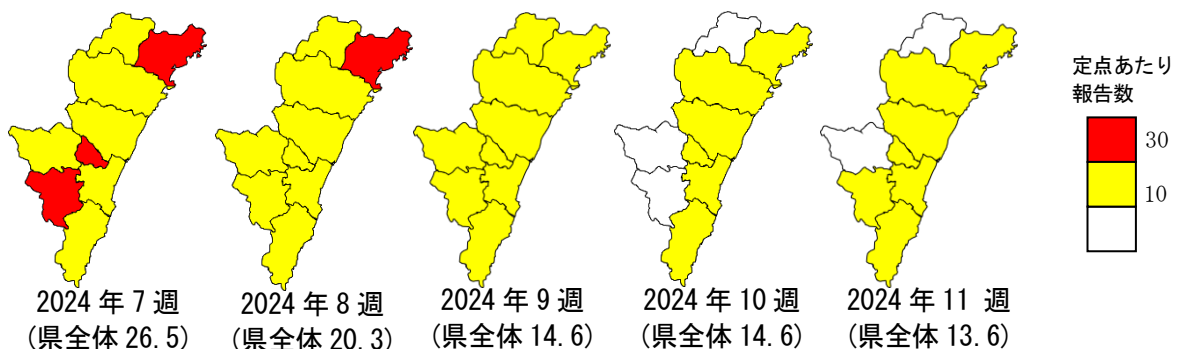


年齢群別割合の推移(2024 年第 7 週～第 11 週)

* 60 歳以上は 0.5%未満



保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2024 年第 7 週～第 11 週



□ 全国第 10 週インフルエンザ発生動向

3 月 4 日～3 月 10 日までの 1 週間で 79,643 人(16.1)の報告があった。前週比 116%と増加し、石川県(37.1)、北海道(35.0)、新潟県(31.8)からの報告が多かった。年齢群別では 5 歳未満が全体の 11%、5-9 歳が 41%、10-14 歳が 31%、15-19 歳が 6%、20-59 歳が 10%、60 歳以上が 1%であった。